

防災意識を高めよう!!



道下地区自主防災会は道下小学校に集まり避難訓練をする
朝 8 時 30 分から道下 7 ブロック 1 2 4 名が参加

彫刻「左馬」
三井健一



謹賀新年

皆様のご健康とご多幸と心より
お祈りいたしております
本年もよろしくお願申し上げます

平成二十六年 元旦
道下公民館長 大崎 勇
職員一同

道下公民館だより

魚津市総合防災訓練 道下で開催

平成25年度魚津市総合防災訓練は、9月29日に魚津市浄化センターでの開催となり、道下・経田地区の住民が多く参加しました。
道下地区自主防災会や地区住民が早朝から道下小学校に集合し、会場まで避難・誘導訓練と担架や車椅子による被災者の救出・救護活動をおこないました。避難所に到着後は、ブロック別の避難者名簿の作成や本部への報告など、一連の訓練を無事に終えることができて充実した半日でした。

No. 92 号
発行者 大崎 勇
編集者 編集委員会
TEL 0765-22-2285
ホームページアドレス
<http://www.nice-tv.jp/~michi-k/>



地震により破損した水道管の復旧訓練
住民の生活に欠かせない上水の供給



一斉放水による大規模火災時の消火訓練
手前の倒壊建屋から負傷者の救出訓練

会場では道下、経田地区の合同による初期消火、炊き出し訓練などを行い、一般参加による煙中体験、心肺蘇生、AED、止血法などの指導も受けました。公助として倒壊建屋や車からの救出訓練、トリアージ、応急手当、消火訓練などを見ることができました。
災害はいつどこで発生するかわかりません。隣り同士が助け合う隣保の精神を持ち、日頃から『もしも』に備えて準備と訓練をしましょう。

道下地区自主防災会

本新町町内会（石川昭総代）では、(財)自治総合センターの宝くじのコミュニケーション助成事業から助成を受け、子供みこし、町内会ネット入り法被等を購入しました。
7月20日には、造営から50年を迎えた本新神社の記念とあわせ披露目式を本新会館で盛大に行い、また、10月5日(土)の秋祭りに

—本新神社造営五十周年— 新子供みこしお披露目

は老若男女共々新調した祭礼用具で「ワッショイ!」と声をかけながら町内を巡行し、楽しい一日を過ごしました。



北鬼江八幡宮の拝殿は、明治19年から工期3年をかけて造営。本殿は大正3年に建立され、共に傷みがひどくなってきたため、町内会では修復再建を決定しました。
昨年3月に着手し、9月28日に清々しい青空の下、本遷座祭が執り行われました。当日は御神体を本殿にお迎えし、稚児行列や獅子舞奉納が行われました。境内には樹齢400年を越す



樺や樹齢約100年の銀杏もあり、神社は、これから私たち地域住民を優しく見守ってくださいませ。

北鬼江八幡宮が修復再建されました



6月9日(日) 敬老会

道下小学校体育館



今年もたくさんの方にお越しいただきました



小学2年生『よっしゅ来い!!CHOUROKU』



ジュニアボランティアも頑張りました



いきいきアロハフラサークルの華麗なフラダンス



青空クラブ『大相撲道下場所 じょじょ!!』

ご長寿おめでとうございます!

今年も148名ものみなさんにご出席いただきました。これからもお元気でいてください。

今年のテーマ

道下いつ踊る? 今でしょ!

8月4日(日)

第44回

じゃんとい魚津まつり せりこみ蝶六街流し ユ一モア賞受賞!!

『三味線隊』も準備万端



『ねぶたぼんぼり隊』回すぞ〜!



小学生低学年も参加『ぼんぼり隊』



初めて結成!『子どもはねろ隊』



笑顔が光る『はねろ隊』

10月6日(日) 体育祭 道下小学校グラウンド

大会結果

優勝	黄団	1,010点
次勝	青团	958点
参勝	赤団	840点
四位	白団	762点
五位	緑団	690点
リレー優勝	青团	綱引き優勝 黄団



俺が1番だ!



サイコロの目はいくつ!?



入れ〜!



トヤマンの旗の色は…?



呼吸を合わせて いち、に!いち、に!



負けるか〜!!



ヘルメットが光る 『防災訓練』

今年、団長という大役をいただき不安でいっぱいでしたが、皆様に助けていただき無事役目を終えることが出来ました。結果、黄団が優勝することができ大変嬉しく思っております。区長さん、班長さん、町内の皆様、そして青年会の皆様、本当にありがとうございました。この道下校下最大のイベント、体育祭に道下校下の皆様が一同に会して、汗を流し、楽しみ、親睦を深めることは大変素晴らしいと思います。今後も地域活動を中心に頑張っていきたいと思っております。

体育祭関係役員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

黄団団長 古谷 優 幸

11月9日(土)~10日(日) 文化祭 道下公民館



いらっしやいませ〜!



ただいま満席です



『おもと』と『お茶席』和の雰囲気漂います



今年もたくさんの方に出席していただきました。

しんきろうロードウォーキング開催!!

交流を深めた一日

平成25年6月30日、前年にしんきろうロードに距離看板を設置したのに伴い、道下地区、経田地区合同で「しんきろうロードウォーキング」を開催しました。参加者は両地区合計で約100名。

道下地区は海の駅・蜃気楼から、経田地区は経田公民館からそれぞれ出発し、ほぼ中間点となる仏田の「二本松」で合流。経田地区で作成したオリジナルパトロールを全員に配布し、記念撮影。両地区の参加者がお互いにハイタッチをして再出発。短時間ながら、両地区の交流を深めた日になりました。

看板設置箇所



設置された看板



出発前に全員で



二本松目指して歩きます



両地区お互いにハイタッチ



二本松で両地区一緒に記念写真



市民バスが新しくなりました!

「NPO法人経田道下地区バス運行協議会」が運営する魚津市民バス「経田道下ルート」が、本格運行を始めてから約6年が経過しました。

本格運行を開始した平成21年度は、年間17,941人、1日あたり約61人のご利用でした。しかし、地域の皆様のご利用が徐々に増えていき、平成24年度は、年間29,490人、1日あたり約100人と約1.6倍に増え、多くの方々にご利用いただいております。

さらに利便性が高まるよう、昨年4月から1日5便が富山労災病院へ乗り入れています。また、10月からは「ミラたん」が可愛くラッピングされた黄色の新しいバスに更新されました。

これからも、地域の皆様に愛され、多くの方々がご利用いただけるよう、関係者一同努力してまいりますので、地域の皆様のご協力をお願い申し上げます。



経田-道下ルートは黄色です

受賞 おめでとう ございます

法務大臣表彰

保護司 森内 貞男

国土交通大臣感謝状

道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努め、その功績が特に顕著な民間の団体として表彰
青島老人クラブ千歳会

魚津市表彰

厚生事業功労

保護司 森内 貞男

民生委員児童委員 山田 夏子

各種大会結果

第17回 魚津市消防団

消防操法大会

優勝 道下分団

第62回 魚津市民体育大会

地区対抗ソフトボール競技

次勝 道下地区

2013 うおづスポーツ・レクリエーション祭

キンポールの部

優勝 道下地区

スティックリングの部

優勝 囲碁ポールの部

次勝 道下地区

道下の歴史を語る会

道下出身の 大島忠康氏を語る



大島 忠康

大島忠康氏は、明治一五（一八八二）年、父忠次、母つねの次男として、富山県下新川郡道下村（現魚津市）釈迦堂において生を受けた。

生家は本人で十四代目に当たる裕福な旧家であったが、父の事業の失敗によって兄弟姉妹六人が学校へ通っていた頃から相当家計は苦しくなっていたらしい。

そういう中、長兄が父祖伝来の農業を継いだので、次男の氏は道下尋常小学校を卒業して、魚津町の明理小学校（現大町小学校）の高等科に進学した。四年後、親に無断で富山中学を受験したが、好成绩で見事合格してしまった。なかなか入学を許してくれない父を拝み倒して何とか進学す

ることができる。

二年生になった時、魚津に第三中学校が開校したので、魚津の二年級へ転向した。相当な健脚家だったようで、直江津と魚津の間一七里を八貫目の荷物を背負って一日で移動したという。

中学卒業後、明理小学校で代用教員をしながら学費を貯め、翌年金沢の四高に入学した。入学後も学費の工面に四苦八苦しながらも、学問への志高く、四高を卒業して東京帝国大学法科に入学する。

一年間の休学届けを出し、八尾町で教員をしながら資金を貯め、東大に復帰した。こうして苦学をしながらもとうとう大正二（一九一三）年に東大を卒業し、高等文官試験にも合格した。

大正三（一九一四）年に鉄道省に就職し、北海道鉄道管理局、東京鉄道管理局、仙台鉄道管理局に勤務する。しかし、大正一三（一九二四）年に起きた、高橋是清の遭遇事故の責任を取り辞任に追い込まれる。昭和二（一九二七）年、復



オホツツ海

で終戦を迎えてしまう。氏は豊原市長として侵攻してきたソ連軍との交渉の前面に立ち、市民の生活や生命の安全の確保、内地への引き揚げに奔走した。昭和二二（一九四七）年春、ようやく樺太から帰還できたという。

その後、魚津市で弁護士をし、母校魚津高校の野球部顧問もしていたという。昭和三九（一九六四）年四月一日、東京都世田谷区の自宅で八二歳の生涯を終えた。

まさに、氏の自伝にあるがごとく、不遇を健歩しながら、自らの可能性を最大限に追求し続け、社会に役立つことを至上命題とした明治生まれの気骨を感じる人生であったといえる。（文責 本元）

昭和一五（一九四〇）年六月、恵まれない境遇の中をたくましく生き抜いてきた自らの半生を書き記した「不遇を健歩して」を出版する。

その年の十月、故郷に戻り魚津町の町長に就任した。昭和一七（一九四二）年四月、魚津町長を辞し、樺太豊原市長に就任するため、再び樺太に渡った。しかし、時は第二次世界大戦の最中、就任二年

道下地区

第3回パークゴルフ大会

- 優勝 山本 博久
- 次勝 川上 由夫
- 参勝 大崎 寛

第26回道下地区住民

ゴルフ秋季大会

- 優勝 中田 正保
- 次勝 観堂 純克
- 参勝 安森 丈智

道下地区ビーチボール大会

- 優勝 体育振興会女子
- 次勝 北中区
- 参勝 岡仏田二区

ご芳志

ありがとうございます。
ご遺族様より
故保里昭男様
金五〇,〇〇〇円

訂正

昨年、配布しました「道下のあゆみを尋ねて」の70ページ上部の写真に誤りがありました。正しくは、左のとおりとなります。

訂正し、お詫び申し上げます。



豊原市長時代に
辻口政竹氏に授与した感謝状



お舟 仏様・仏具の箱

随想 ―折にふれて―

白犬のしっぽ

富山県立魚津高等学校教諭

亀田 瑞穂

魚津市の道下公民館で小学生を相手に将棋を教え、もう二十年になる。

E児 「じゃあ、『見たことない』って意味だ。」

学校週休二日制が導入された頃、児童の土曜日の活動を地域の公民館も手助けすることになり、サークル活動が企画され、その講師に応募したのがきっかけだった。

あの子たちも今は三十代。元気でいるだろうか。

高校の教員である私にとって小学生と接することはとても新鮮だった。何気なく言った冗談も面白がって真似し、バリエーションを変えてくる頭脳の柔軟さに舌を巻いた。

私 「その手(将棋の指し手)は、白犬のしっぽ、だな。」

A児 「何ですか、それ」

私 「おもしろい(尾も白い)ってこと。」

――しばらくしてから、

対局中の子供たちの会話。

A児 「その手は黒犬のしっぽだ。」

B児 「なんじゃそれ？」

A児 「おもしろくない(尾も白くない)ってこと」

C児 「赤犬のしっぽなら、どうなる？」

――みんなで考え始め、

いろいろな意見が出た後、

D児 「ところで、赤犬って、見たことある？」

みんな「ない。ない。そういえば、見たことない。」

将棋が趣味であったおかげで、自身の教師生活に大きなアクセントが加わったように思う。十四年間勤めた富山中部高校でも将棋部の顧問として多くの人々と接することができた。四月からは、母校魚津高校で新たな出会いに胸を躍らせている。白犬か赤犬で行きたいと思っている。

公民館活動から

☆☆☆楽しかったね！道下青少年活動☆☆☆



ふるさと探訪 ―野方編―



土と遊ぼう なないろKAN



お魚いっぱい 魚津水族館



北アルプスをバックに大空を飛んでみよう！

EXアドベンチャーは、すごく楽しみでわくわくしていました。やってみると、本物は想像より高くてびっくりしました。2回目もつと高い8メートルもあるところどころでこわかったです。一番こわかったのは、タイヤをよけながら進むところです。何より楽しかったのはターザンでもとても気持ち良かったです。また、あったら参加したいです。

「北アルプスをバックに大空をとほう」に参加して5年 和田 琴葉
私は、初のEXアドベンチャーとパラグライダーをしました。パラグライダーは、「飛んでもすわらずに走ってください」と言われたけど大丈夫でした。でも、続けて何度もやってみたら、飛べるようになって、すごくうれしかったです。

「学び」「楽しむ」を第一に！

女性セミナー

地域で楽しく絆を深めます

道下地区の人口

(平成25年12月1日現在)

男 2,964人 (-18)

女 3,150人 (+14)

計 6,114人 (-4)

世帯 2,301世帯 (+12)

※かっこ内は前号対比



10/13

文化祭出展作品『干支の押し絵』



9/23

ミラたんバスで100周年の水族館へ 帰りは4kmをウォーキング



12/8

ふるさと教室『しめ縄づくり』